



### 医療・介護の改悪から市民の命と健康を守るために

**議員** 政府の「医療・介護総合推進法案」は要支援者向けの訪問等を市町村に丸投げするとしている。本市の対応をたずねる。

**市長** この制度改正による市民生活への大きな影響は生じないものと考えている。しかし、国に対して、市町村間の格差が生じないよう基盤整備をするとともに、各自自治体への十分な財政支援措置を市長会を通じ要望している。

### 教育の充実を求めて

**議員** ①国の教育委員会制

度改革案は教育委員会から実質的権限を奪うものとなっている。見解をたずねる。

②県は学力向上等成果のあった市内公立小・中学校1校に対し、百万円交付する。市長の態度表明を求める。

③学校適正規模に関わって、子どもたちの声をきくべきと考えるが、どうか。

④3歳児保育が全幼稚園で始まっている。幼稚園から空調設備の設置を始めるべきと考えるが、どうか。

**教育委員長** ①新たな制度となっても責任ある教育行政実現のため、市長と連携して教育課題の解消に努めたい。

**市長** ②学校間の競争をおるのは教育的ではない。教育委員会と連携して判断したい。

**教育長** ③子どもの声はきいていないが、審議会では関係者の声をもとに審議している。該当地域に丁寧の説明していく。

④幼稚園2園、中学校3校

について実施計画をたて、

平成27年度に設置する。

### 蔵本隆文議員

#### 事業の統廃合について

**議員** ①今後のまちづくり

の地域運営において、各種団体等との事業の調整や権限の整理等が必要と考えるが、市長の考えをたずねる。

②行政も統廃合に伴った改革・再編が必要と考えるが、どうか。

**市長** ①各種団体等との重複があれば、まちづくり協議会で話し合いをしていただきたいと考えている。基本的にはそれぞれの団体の目的や果たしてきた役割を尊重するが、まちづくり協議会で実施することがより効果的な事業であれば、協働での実施も考えられる。

②今後、まちづくり協議会が地域に浸透する中で、必要と認められる場合には再編を検討していきたい。

**議員** まちづくり協議会と行政協力委員の関係について

たずねる。

**政策部長** 行政協力委員は、行政が様々な施策を進めていくにあたり、それを伝える役割を持つ、いわゆるトップダウンの組織である。

一方、まちづくり協議会は、地域での自主的な取り組みを進めていき、地域を元気にするという役割を持つ、ボトムアップの組織であり、組織の役割には相違があると考えている。

今後採用予定である観光コーデイネーターとも協議しながら、様々な観光振興策を考えたい。

**議員** 2、3年後にこの港の改修が完了する。それまでに島をアピールする様々な方法を考えるべきだが、現時点で具体案はあるのか。

#### 観光振興について

**議員** 2月に発表した「笠岡港住吉地区整備構想」により、住吉港の乗船場の待合所として2階建ての建物を建設し、駐車場、及び港の歩道も整備する予定と聞いている。

この施設を起爆剤にした島しよ部における今後の観光振興策をどのように考えているのか。

**市長** 新しくできる待合所は、笠岡諸島の玄関口であ



笠岡諸島